

JVCKENWOOD

JVCケンウッド DXビジネス事業説明資料

2020年10月9日

株式会社JVCケンウッド

- 1. DXビジネス事業について**
- 2. 現在展開している主なビジネス**
- 3. 成長シナリオと新たな取り組み**

1. DXビジネス事業について

2. 現在展開している主なビジネス

3. 成長シナリオと新たな取り組み

DXビジネス事業について

「2020年ビジョン」に掲げる「顧客価値創造企業への変革」を実現するため、
既存3分野で培った多様な技術・知見等を生かした
顧客課題・社会課題を解決するソリューションの創造により“第4の柱”を育成



※SDGs : Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標

DXビジネス事業について

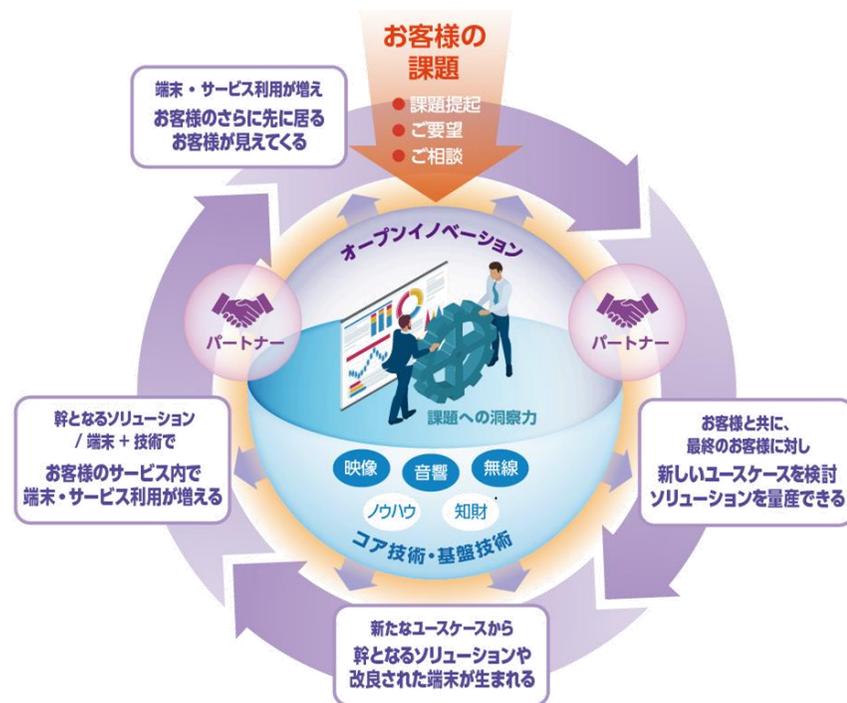
■ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは？

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

※引用：「『DX推進指標』とそのガイダンス」（経済産業省）

■ DXビジネス事業部とは？

DXビジネス事業部は、AIやIoTといった最新のデジタル技術やIT技術を駆使することで、お客さまの事業運営やコスト削減、効率化等に寄与する製品・サービスの提案にとどまらず、お客さまに寄り添って共に課題を解決する、という価値提供を目指しています



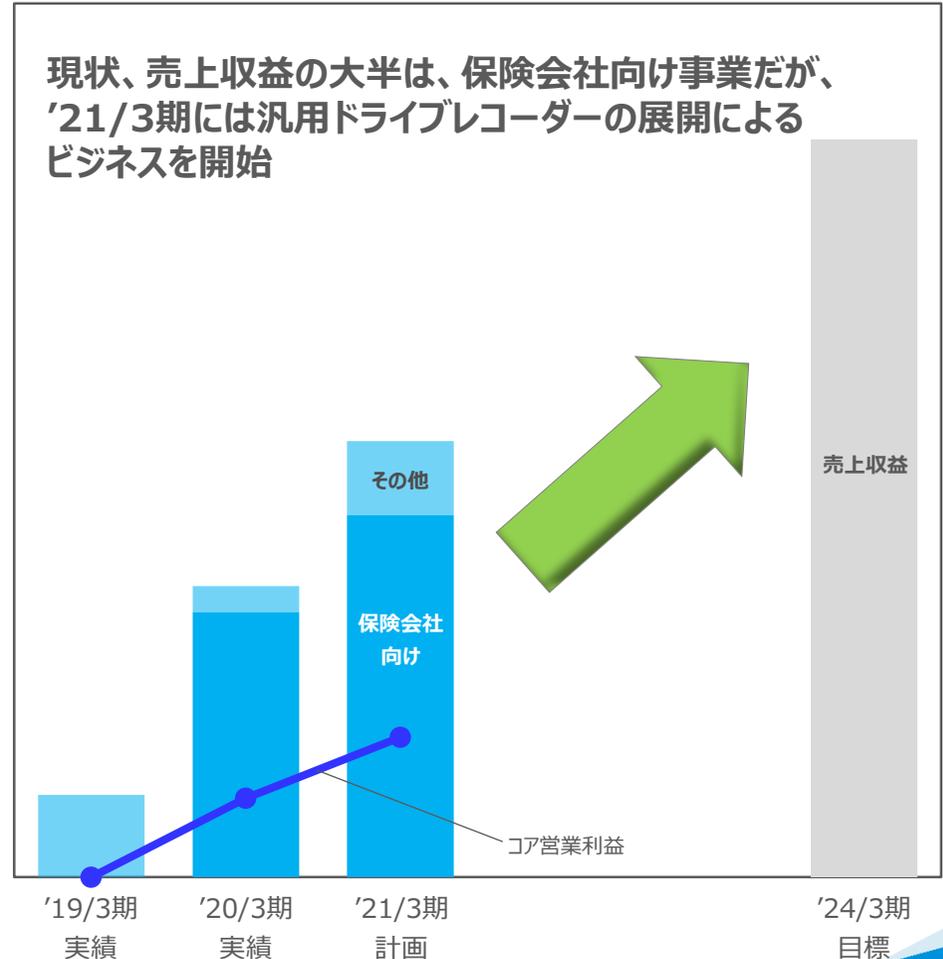
DXビジネス事業部について

■ 沿革

- 2016年：経営企画部の一つのチームとして4名で発足
- 2017年：CTO傘下でソリューション開発部として独立した組織に
- 2018年：2017年までのリード案件の開発に着手、本格的な売上開始
- 2019年：DXビジネス事業部発足。本格的な事業部として活動開始。陣容は130名規模へ

■ DXビジネス事業部の実績推移

現状、売上収益の大半は、保険会社向け事業だが、'21/3期には汎用ドライブレコーダーの展開によるビジネスを開始



1. DXビジネス事業について

2. 現在展開している主なビジネス

3. 成長シナリオと新たな取り組み

1. 通信型ドライブレコーダーを活用したテレマティクス保険サービス

目的：より良い保険サービスの提供



保険契約（自動車保険契約のオプションサービス）



- 事故緊急自動通報サービス
- 安全運転支援アラート
- 常時録画機能
- 運転レポート
- 見守りサービス

MS&AD

三井住友海上 あいおいニッセイ同和損保

- クラウドシステム
- コールセンター

MS&AD

JVCケンウッド

- デバイスの製造
- ソフトウェア開発
- キットティング
- コールセンター

DXによる変革

保険会社

- 安全運転による事故削減
- 事故査定・示談までのコスト削減
- 保険加入者増加

被保険者

- 事故削減・安全運転
- 緊急時の迅速な手続き
- 過失判定の精度向上

2. 運転手安全支援システム

目的：ドライバーの安全確保によるサービスレベル向上



DXによる変革

ライドシェア会社

- 企業価値向上
- 安全性向上
- イメージアップ
- 運転手の囲い込み

ドライバー

- 身の安全確保
- 収益増加
- 車の盗難予防

1. DXビジネス事業について
2. 現在展開している主なビジネス
- 3. 成長シナリオと新たな取り組み**

DXビジネスの成長シナリオ：パートナーとの取り組み深耕

顧客

MS&AD

MS&AD

三井住友海上 あいおいニッセイ同和損保

当社

JVCKENWOOD

1

個人向け保険契約
(自動車保険特約)



通信型ドライブレコーダーの販売、
周辺サービスの提供

価値創造：事故削減、査定時間減、契約率アップ

2

企業向け保険契約へ
(自動車保険特約)

ドライブレコーダーの進化

Advanced Driver Assistance System (ADAS)
Driver Monitoring System (DMS) の機能追加

価値創造：事故削減、査定時間減、契約率アップ

3

事故時、自動査定、自動登録

新ドライブレコーダー
の提案

AI機能、カメラ精度向上

価値創造：査定時間減、コストカット

DXビジネスの成長に向けた技術部の取り組み

- “デジタルトランスフォーメーション”をかたちにする技術部の陣容は現在約120名規模（社内外応援含む）
- 更なる付加価値機能提供のため、部内でAIチームを発足
- AI、センサ、生体認証、端末セキュリティ、通信、クラウド等の幅広い領域での開発を推進中

(例：ドライブレコーダーに関わる技術)



ドライブレコーダー＋AI

- ・AI技術（顔認証、居眠り検知、携帯使用検知、脇見検知、喫煙検知）
- ・ドライブレコーダー設計技術（カメラ映像技術、車載環境対応 他）

ドライブレコーダー＋クラウドサーバーシステム

- ・クラウドアプリケーション開発
- ・モバイル通信・ネットワーク



ドライブレコーダー＋通話・モバイル通信

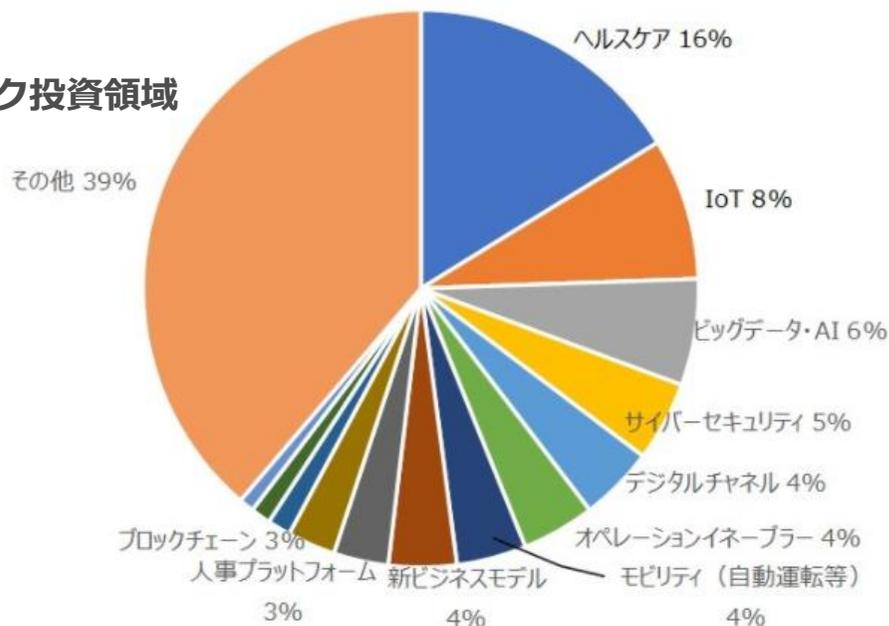
- ・センサー技術・通信技術

つながる世界における保険ビジネス：インシュアテック

インシュアテック（InsurTech） = 保険（Insurance） + テクノロジ-（Technology）

- デジタル化に伴い、保険業界も変革を迫られており、多くの保険会社が保険を軸としたビジネス展開のため、積極的なインシュアテック投資を行っている
- 上位の投資領域は「ヘルスケア」、「IoT」、「ビッグデータ・AI」で、顧客ニーズの変化に応じた付加価値提供・データ活用といったテーマに興味を持っていることがうかがえる

保険会社による
インシュアテック投資領域



出所：アクセンチュアによるCB Insightsデータの分析

テレマティクス保険事業で得た経験を基に、「車」から車以外の空間の「家」、「工場」等への進化・拡張を目指す

DXビジネスの成長シナリオ：事業領域と展開地域の拡大

DXビジネスの提供価値・商材

Device起点でつながる、みつける、役立つ
豊かな社会の創造支援へ

サービス



変革要請/
顧客課題

解決提案/
ソリューション

モビリティプラットフォーム
(Device as a Service)

高信頼・セキュアな個客データを
常時収集・活用できる接点・基盤

つながるドライブレコーダー・端末



ユーザー・用途が広がることで、
顧客知見・生の行動データを生かした価値提案へ

具体的なアカウントの存在する領域から展開

フットプリントがあり伸びしろが大きい国
での顧客価値創造事業のモデルづくり

展開地域の拡大



米国



ミャンマー



インドネシア



顧客視点で具体的なニーズがあるところから展開

空間×サービス



日本

可視化と見守りニーズの
存在するセグメントに展開

車×サービス



日本

業界のリーディングプレイヤーに展開

MS&AD

INSURANCE GROUP

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

IWATSU

MOT

Mobility
Technologies

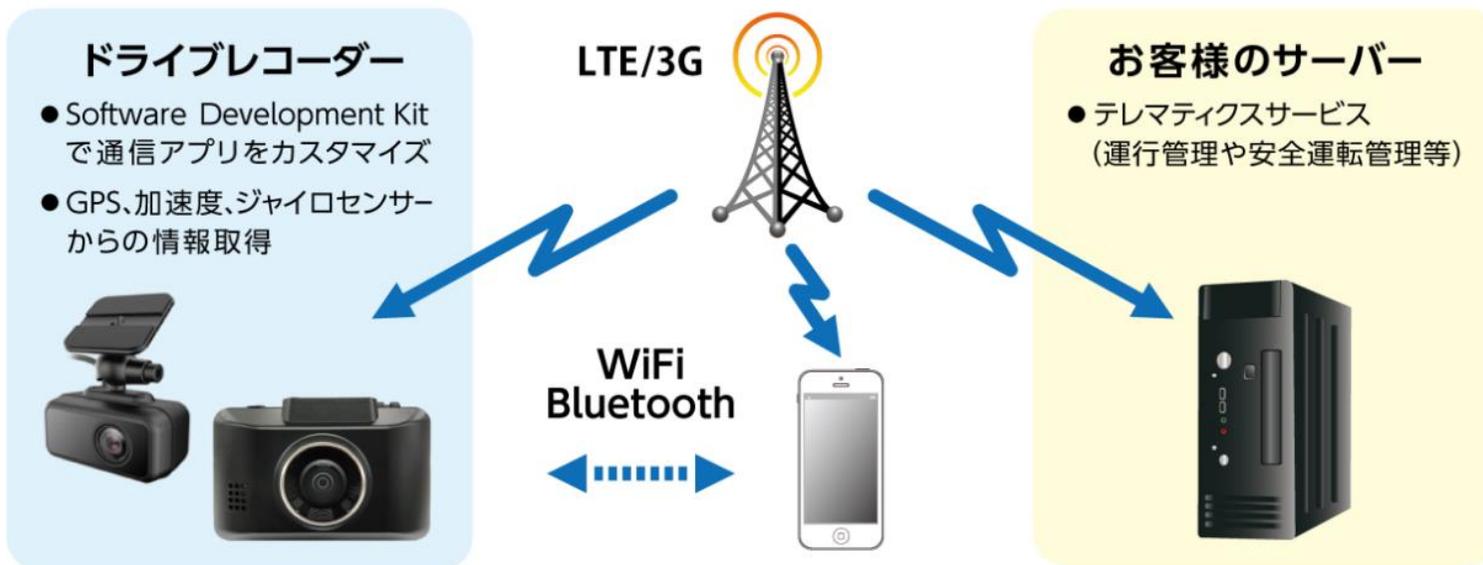
SR

三和交通グループ

「車×サービス」の新たな取り組み①

テレマティクスサービス向け通信型ドライブレコーダーを開発

- IoT・AIデバイスとしての活用にもフォーカスした、テレマティクスサービス向け通信型ドライブレコーダー
- 汎用OSの採用により顧客のニーズに応じてドライブレコーダー機能や外部システムとの連携を自由にカスタマイズ可能、幅広い分野に向けて提案



「車×サービス」の新たな取り組み②

パートナー企業&地方自治体と共同で各種の実証実験を開始

- 高齢ドライバーの事故低減を目指して、あいおいニッセイ同和損保および愛知県豊田市とともに、ドライブレコーダーと視線計測装置を活用したドライバーの身体・認知機能に関する実証実験を2020年2月から豊田市内で開始
- あいおいニッセイ同和損保、三和交通および埼玉県入間郡三芳町とともに、MaaS※推進への取り組みとして、同町の公共交通の利便性向上を目的とした実証実験を2020年12月から開始



※Mobility as a service の略。ICT を活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念

「空間×サービス」の新たな取り組み①

エッジAIカメラの取り扱いを開始

オープンソースハードウェア（OSH）の企画・製造ベンチャーであるビズライト・テクノロジー製のエッジAIカメラ製品について、総販売代理店として取り扱いを開始

目的に応じアプリケーションを搭載することにより、さまざまなシーンでの利用が可能

振り込め詐欺検知

視線検知

特定者検知

不良品チェック

欠品チェック

アナログメーター読み取り

異常行動検知

特定物体検知

在庫チェック

人体・物体
カウント



「空間×サービス」の新たな取り組み① エッジAIカメラ

エッジAIカメラを活用した振り込み詐欺を未然に防ぐソリューション

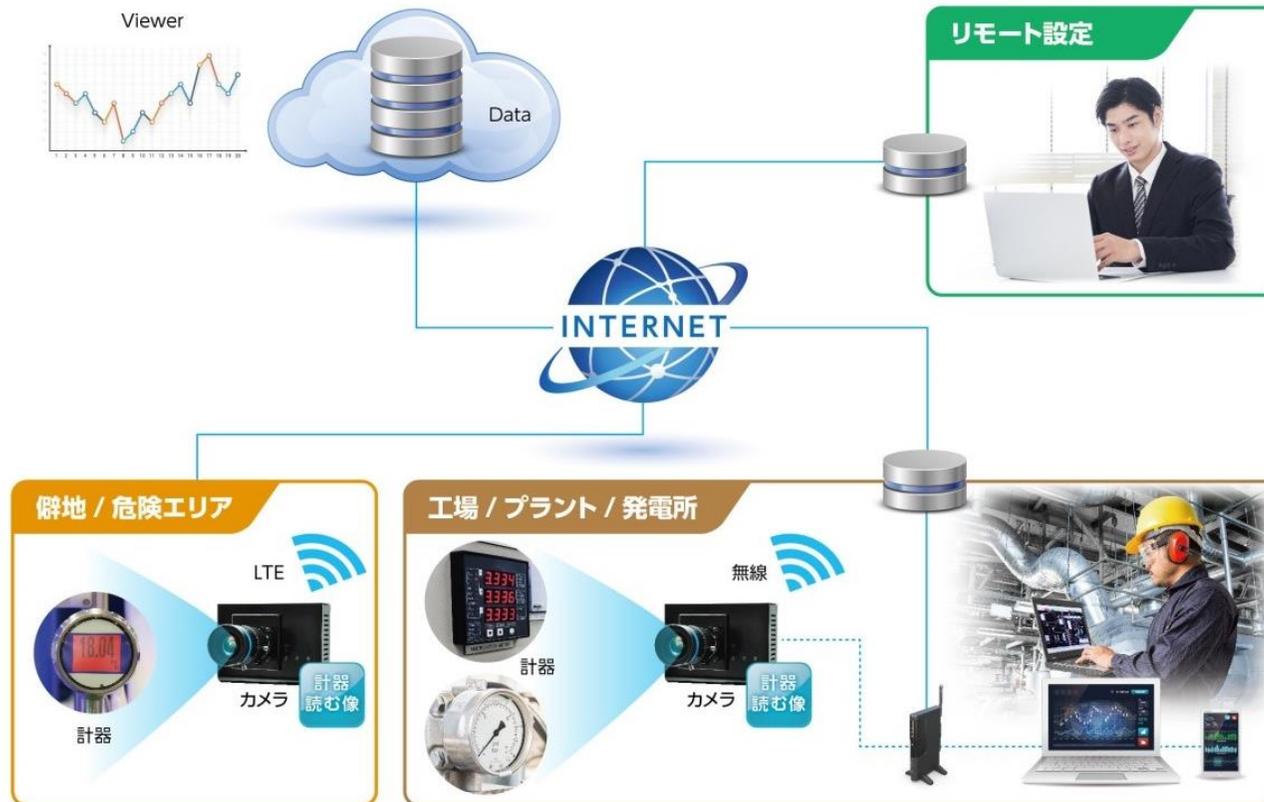
北洋銀行の実店舗で、新型コロナウイルス感染症対策の給付金や助成金に関連した詐欺や振り込み詐欺を未然に防ぐソリューションの実証実験を実施。将来的には同ソリューションの実店舗での実用化を目指す



「空間×サービス」の新たな取り組み① エッジAIカメラ

エッジAIカメラとメーター自動読み取りソフトウェアの連携ソリューション

岩崎通信機との協業により、当社が取り扱うエッジAIカメラと同社製のメーター自動読み取りソフトウェア「計器読む像」を連携させたファクトリー・オートメーション（FA）向けソリューションの提供を開始



「空間×サービス」の新たな取り組み② 浴室あんしん安全システム

浴室内死亡事故のリスクを低減する非常発報システム

ハウスメーカーや浴室・浴槽メーカーをはじめ、発報を受けて駆け付ける警備会社等の各分野に提案



家族を突然失う不幸を、防ぎたい
遠くの両親を、不慮の浴室事故から守りたい
孤独な最期を迎えることのない社会にしたい

道路より危険な浴室を、安全なくつろぎ空間へと変える

浴室安全安心システムの普及を目指す

※1. 総務省によるH26救急搬送死者4,866人に加えて、救急不搬送死者を加えた推計値



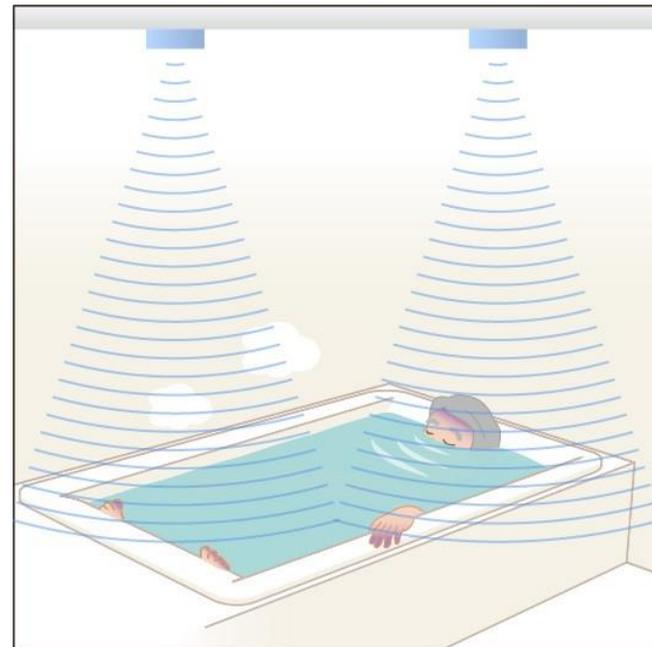
「空間×サービス」の新たな取り組み② 浴室あんしん安全システム

超音波技術により入浴者の頭部位置を計測、浴室内事故のリスクを低減

- 独自の超音波を中心としたセンシング技術により、入浴者の頭部位置の変化を約3秒で検知
- 音声アラームにより意識の有無を確認した後、約18秒で外部に発報し、早期の救命活動の可能性を高める



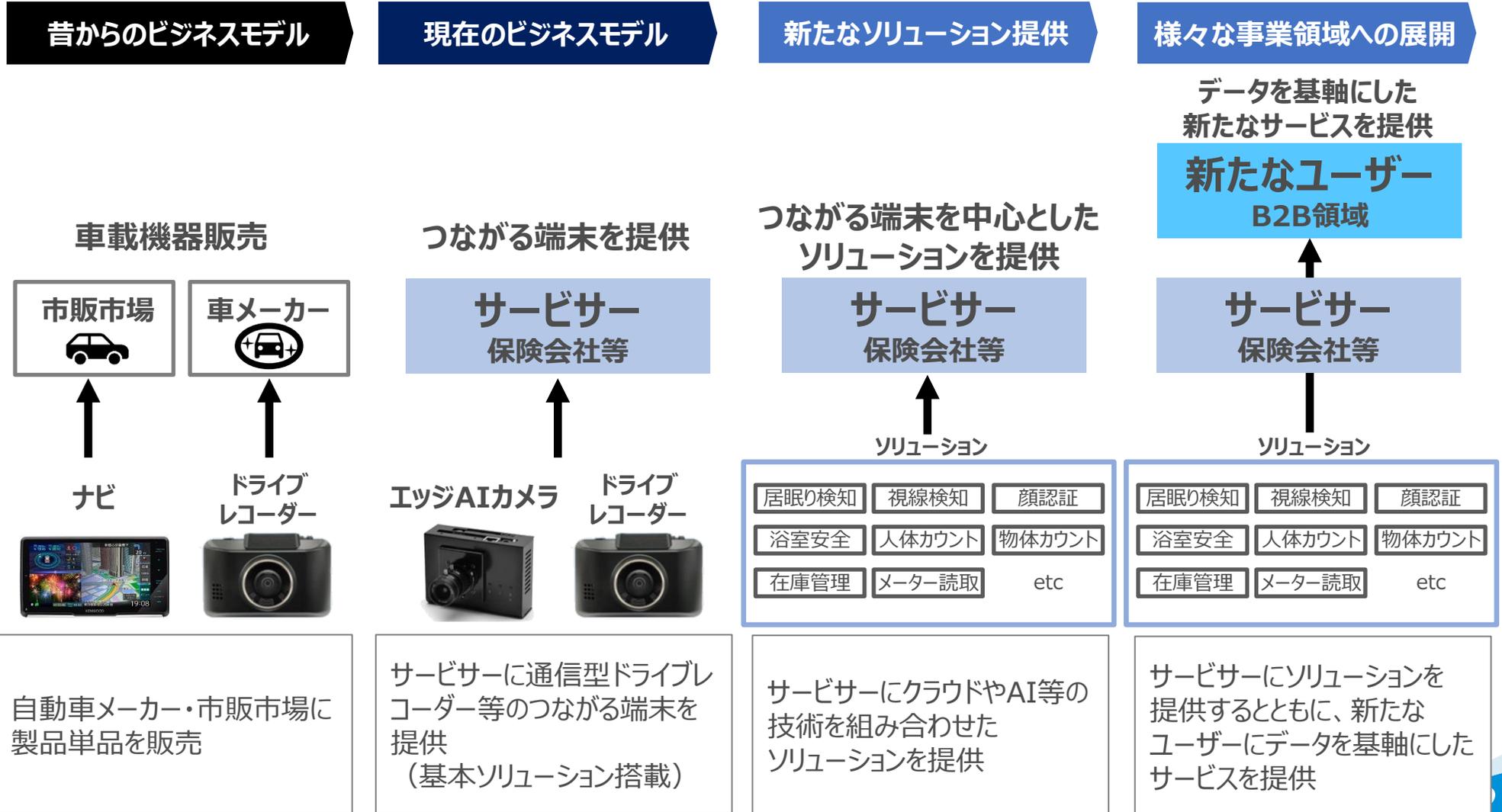
＜超音波センサーにより入浴者の頭部位置を測定＞



＜頭部位置に変化があった場合、溺水等の有無を判断し、音声アラームで本人に通知後、外部に発報＞

DXビジネスの成長シナリオ：まとめ

通信型ドライブレコーダー等のつながる端末を中心に、よりインテリジェンスな機能を搭載し、「車」から「空間」へ様々な事業領域への展開を目指す



三井住友海上GK見守るクルマの保険CM動画

GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）ビデオ判定篇

<https://www.youtube.com/watch?v=bQ3gmq7dKwU>

社有車（フリート契約）向けサービス『Fードラ』登場篇

<https://www.youtube.com/watch?v=RxQUaw8n01E>

GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）後方カメラも出た！篇

<https://www.youtube.com/watch?v=eNQqqogYXE0>

Grabインドネシア向け運転手安全支援システムプロモーション動画（インドネシア語）

[Kata Mitra] Lengkapi Keamanan Berkendara dengan Layanan Kamera Grab Siaga

<https://www.youtube.com/watch?v=kAwdRVJIW9k>

[Jakarta] Layanan Keamanan Grab Siaga untuk Mitra GrabCar Jakarta

<https://www.youtube.com/watch?v=unsXx6vdNuQ>

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらす恐れがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、（1）主要市場（日本、米州、欧州およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動、（2）国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、（3）ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、（4）資本市場における相場の大幅な変動、（5）急激な技術変化等による社会インフラの変動、等があります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。